

第十六條 準組合員が創傷又は疾病ノ爲メ休業シタル場合ハ休業日數二十日毎ニ金四圓宛救濟ス但シ五回ナ以テ限リトス

第十七條 組合員又ハ準組合員カ前二條ノ救濟ヲ受クル期間組合費ヲ免除ス

第十八條 組合員又ハ準組合員カ第十五條第十六條ニ依リ三回以上再救濟ヲ受ケタル場合ニハ其ノ最後ノ救濟ヲ受ケル月ヨリ六ヶ月以上經過スルニアラザレハ更ニ同條ノ救濟ヲ受クルコトヲ得ナルモノトス

第十九條 組合員又ハ準組合員カ轉地療養ヲ爲シタル場合ニハ第十五條第十六條ヲ適用セス但シ埋葬ハ幹事會ノ承認コ經テ第十五條第十六條ノ救濟額ノ範圍内ノ金額ヲ自賄金トシテ贈與スルコトヲ得ルモノトス

第二十條 組合員カ創傷又ハ疾病ノ爲ニ職ニ堪エシテ退職シタル場合ニハ金貰拾圓ヲ救濟ス

第二十一條 準組合員カ創傷又ハ疾病ノ爲ニ職ニ堪ヘスシテ退職シタル場合ニハ金五圓ヲ救濟ス

第二十二條 組合員カ三ヶ月以上組合費ヲ繼續納付シタル者ニシテ自己ノ都合ニ依リ退職シタル場合ニハ金五圓ヲ贈與ス

第二十三條 準組合員カ三ヶ月以上組合費ヲ繼續納付シタル者ニシテ自己ノ都合ニ依リ退職シタル場合ニハ金貰拾圓ヲ贈與ス

第二十四條 組合員カ領主ノ都合ニ依サセシテ退職セラル場合ハ金貰拾圓ヲ贈與ス

第二十五條 組合員カ領主ノ都合ニ依リ解雇セラル場合ハ金貰拾圓ヲ贈與ス

第二十六條 理事ハ組合員又ハ準組合員ノ退職又ハ解雇若クハ轉勤ノ理由如何ニ拘ラス其ノ組合員又ハ準組合員カ本組合ニ特ニ功勞アリタルモノト認ムル者ナル時ハ委員會ノ協賛ヲ經テ積立金若クハ維持費ヨリ相當ノ金額ヲ支出シテ贈與スルコトヲ得